



私たち
地域おこし協力隊員は、
このまちが
大好きです。

特集 まちを元気に! 地域おこし協力隊員奮闘中 2~7P

雪と暮らす—今年もみんなで雪またじ— 8~9P

市役所などの「年末・年始の業務」についてお知らせします 10P

映画「国宝」高山市特別上映会 12P

外からの視点や若者ならではの発想により
地域の魅力を見つめ直し、新しい活力を
生み出す地域おこし協力隊員。
高山市で現在活躍する
地域おこし協力隊員の活動に密着しました。



地域おこし協力隊員奮闘中

少子高齢化や人口減少が進む中、地域の活力を維持し、
次の世代につなげていくためには、新しい力が欠かせません。

地域おこし協力隊は、地域の活性化に意欲を持つ若者が地域に入り、
住民の皆さんと一緒に活動する制度です。

[問合せ] 地域政策課 ☎35-3183



▲冬の西ウレ幹(清見町)にて、協力隊員OBの太田さん(左)と現協力隊員の丹羽さん(右)



協力隊員のジョエルさん



地域おこし協力隊とは? 高山市の協力隊と全国の広がり

地域おこし協力隊とは、都市部から地方に移住した人が委嘱を受けて地域活性化のために活動し、その地域へ定住、定着することを目指す総務省の制度です。それぞれ出身や経歴が異なる皆さん、「高山市を元気にしてい！」という熱い想いのもと、高山市を選んで来てくださいました。

全国では7,910人(令和7年3月時点)が活動中で、外からの視点や若者ならではの発想を活かして、地域の魅力を見つめ直し、新しい活力を生み出しています。活動を通して「自分たちの地域は自分たちの力で元気にしていく」という想いが広がり、任期を終えた後も活動地域に残って活躍する隊員が増えています。

地域の未来を支える “新しい力”に、今、期待しています

人口減少に伴う環境の変化は、地域活動などにも大きな影響を与えており、その担い手となる人材の確保が地域の活性化を図る上で大きな課題となっています。

こうした中、市では、地域おこし協力隊制度を活用し、地域の活性化に積極的に取り組む団体への人材支援を行うことで、持続可能な地域づくりを目指しています。現在、市内各地域で地域おこし協力隊員の皆さんのが意欲的に活動しています。協力隊員を見かけましたら、ぜひ、温かいお声掛けをお願いします。

高山市長 田中 明



▲奥飛騨を走るオープンバス「おくひだマウンテンバス」に試乗する協力隊員の河野さん



▲久々野の魅力探し(新しい自然資源の発見)に取り組む協



▲自然体験ツアーにて、子どもたちに魚掴みのレクチャーをする丹羽さん

地域の未来をつくる仲間たち

「私たちが地域おこし協力隊員です！」



出身：埼玉県さいたま市

趣味や特技：カメラ、柔道(地元の子どもたちに教えています！)

主な活動内容：

- ・SNSやホームページを活用した奥飛騨温泉郷地域の魅力の情報発信
- ・北アルプストラバースルートの推進に向けた新たな取り組みの提案
- ・奥飛騨温泉郷地域などの移住者とのコミュニティ構築や交流活動

受け入れ団体より

これからも一緒に力を合わせて魅力あふれる地域を目指し、山岳観光を盛り上げていきましょう！



出身：愛知県北名古屋市

趣味や特技：漆工芸作品の製作、生き物探索(昆虫、両生類、爬虫類なんでもOK！)

主な活動内容：

- ・体験プログラムやイベントの企画運営、新たな体験メニューの開発
- ・各種イベントへの参加・出店やSNSの活用による清見地域の四季折々の魅力の情報発信

受け入れ団体より

赴任して1年、田舎暮らしも楽しみながら、その明るい笑顔と行動力で地域と一緒に夢を育てていきましょう。



現在、市内で活躍している地域おこし協力隊員たちがこれまでに培ってきた経験やスキルを活かしながら、日々、高山市をより魅力的なまちにするための活動に取り組んでいます。移住してきたからこそ気づける地域の良さ、外からの視点だからこそ見える課題や可能性を大切にし、地域の皆さんと力を合わせながら、さまざまなプロジェクトを進めています。

そんな協力隊員のみなさんに、「高山市的好きなところ」を書いていただきました。

それが感じる“高山らしさ”には、地域で活動する中で見つけた特別な想いが込められています。



出身: 高山市(隊員になる前は東京都大田区在住)

趣味や特技: 踊ること、歌うこと(ボサノバ)、笙の演奏(日技雅楽会所属)、国内外の遊歴、国際唸酒師、舞台観賞(演劇、バレエ、お笑いなど)

主な活動内容:

- ・若い世代が主体的に地域と関わる仕組みづくり
- ・地域の歴史や文化を学び、伝える場をつくり、まちの魅力を未来に繋ぐ活動の実施

受け入れ団体より

文化・生活・自然など、この豊かなまちの魅力を未来へと繋げられるよう、地域の皆さんとも一緒に歩んでいきましょう!



住 菜 摘 さん
[しもまちユニオン]



出身: アメリカ合衆国 ミネソタ州(隊員になる前は名古屋市在住)

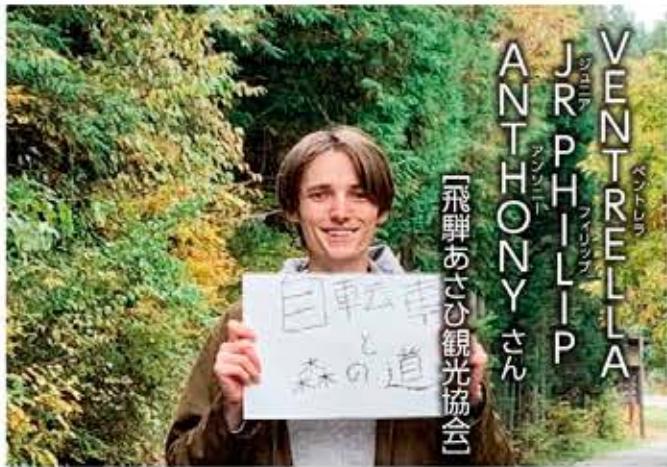
趣味や特技: 音楽(レコード、音響、DJなど)、サイクリング、ナチュラルワインや食に関するこ

主な活動内容:

- ・久々野地域の特産品のプロモーションにつながるSNSを活用した情報発信やイベント企画
- ・久々野地域の自然資源などを活用した地域活性化に向けた活動

受け入れ団体より

久々野に溶け込むと取り組む頼もしい姿に、今後ますます地域から愛される存在となることを期待しています!



出身: アメリカ合衆国 フロリダ州(隊員になる前は兵庫県川西市在住)

趣味や特技: ハイキング、料理、プログラミング、旅行、日本語と英語の翻訳、絵を描くこと、中国語

主な活動内容:

- ・朝日地域にて実施する、新しいツアーや体験プログラムの企画・立案やガイドの実施
- ・SNSなどを活用した、朝日地域の魅力の情報発信

受け入れ団体より

その親しみある人柄でみんなの人気者、世界に飛騨朝日を発信する心強い存在として期待しています!



VENTRELLA
J. R. PHILIP
ANTHONY さん
[飛騨あさひ観光協会]



出身: 愛知県春日井市

趣味や特技: 能楽(宝生流)、写真撮影、クロッキー(特に人物の描写)

主な活動内容:

- ・漆の植樹や植栽地の整備、生育状況記録の作成・管理
- ・植樹祭や木育イベントなどの企画・実施
- ・SNSやHPを活用した、地域の漆に関する情報発信

受け入れ団体より

夏の早朝草刈りや毎日の苗木の世話まで、厳しい環境にも関わらず一緒に漆を育ててくれて心強いです!



酒井 今日子 さん
[NPO法人飛騨漆の森プロジェクト]

このまちに惹かれて

～地域おこし協力隊員 加藤さんの挑戦～

高山市が気に入り、令和7年9月に地域おこし協力隊員として着任した加藤さん。

「高山ロボットクラブ あそぼろっと！」でデジタル技術活用に向けた取り組みの企画・実施などを行っています。市内で活躍する協力隊員を代表して、活動や思いを紹介します。



高山の
好きなところ

かとう ひでゆき 加藤 英之 さん

出身：千葉県柏市

趣味や特技：旅行（現地の方との交流）、木素材を中心としたものづくり

活動内容：

- ・こども向けロボットプログラミング講座の企画・実施
- ・市民や事業者のデジタル技術活用に向けた取り組みの企画・実施
- ・寄付プロジェクトの運営および経理業と協力者の獲得に向けた取り組みの実施

●高山市の地域おこし協力隊員になろう と思ったきっかけは？

高山には平成22年の秋に初めて来ました。この大好きな高山でものづくりや場づくりに関わりたいという思いから、またとない巡り合わせだと感じ、申し込みました。

●高山での暮らしで大変だと思うことは？

温暖な地域で育ったので冬の寒さは厳しいと感じますが、春の温かさやありがたさをより実感できるようになります。これまでの社会人の延長であれば選択しなかった経験をさせてもらっているので、感謝の気持ちを忘れずに活動したいです。

●地域おこし協力隊員としてやりがいを感じる瞬間は？

他のメンバーと交流できること、そして協力隊として地域を元気づけられることにやりがいを感じます。

●今後の目標は？

移住者として高山に住んでいる身としては、高山に住んでいる方と移住に関心がある方をつなぐ「地域の翻訳者」のような存在になることが一つの目標です。



ロボット講座では、ロボットの制作、プログラミングなどを小中学生に教えています。ものづくりの楽しさやデジタル技術のすばらしさをこどもたちに教えるのはとてもやりがいがあります。こどもたちから様々な質問があるのもとても嬉しいです。

新しい視点を持っている
協力隊員に期待大です！

私は「こどもから事業者まで地域全体を対象とした『学びと共創の場』」を広げ、デジタルを軸とした地域「ミニミニ」づくりを進めています。これまで運営メンバーの全員がボランティアで携わっており、人の資金的な面で持続可能とは言えない状況でした。そのため、新たに拠点を構え活動していくとする中で、加藤さんの力をぜひ借りたいと思いました。加藤さんは、土木・木工・情報デザインの経験を活かし、こどもたちの活動支援や木工指導で大きく貢献していただいています。また、地域イベントにも積極的に参加し、団体連携の輪を広げています。今後は「ラボレーション」ベースの開設に向けて、多彩な企画を担つていただき予定で、とても期待しています。



なかむら 真由美さん
(高山ロボットクラブ
あそぼろっと!代表)

「高山ロボットクラブ あそぼろっと!」とは？

小中学生を対象にプログラミングや電子工作など、デジタル技術とものづくりを学ぶことができる通年講座やイベントを継続的に運営している非営利団体です。

科学技術に触れる機会が都市と比べて乏しい飛騨地域のこどもたちに、より多様な遊びと遊びの機会を提供するべく、2023年3月に活動を開始。これまでに約65人を超える飛騨のこどもたちと科学的な探求を進めながら、失敗と挑戦の場をはぐくんでいます。